

(資料1)

評価項目	1 機関の運営方針・研究推進計画に関すること
当センターの状況	<p>東日本大震災に関する業務を最優先とするとともに、(1)健康、環境に関する危機管理への迅速・的確な対応、(2)県民の健康と環境を守るための試験検査・監視測定の実施、(3)本庁、振興局との連携による行政課題に対応した調査研究の実施、(4)保有する資源やデータを活用した技術支援、情報発信、研修指導の実施といった4つの業務について重点的に取り組んでいる。</p> <p>県民計画の7つの政策のうち、「共に生きるいわて」、「安心して心豊かに暮らせるいわて」及び「環境王国いわて」の3つの政策の実現に寄与する試験研究を行っている。</p> <p>行政関係には文書で、県民へはホームページにより毎年研究課題の公募を行っており、平成22年度に一関市から依頼のあった千厩川の対応について、平成23年度から基礎研究として取り上げている。</p>
評価結果/評価の視点	<p>○総合評価 A 適当(4人)・B 要改善(1人)・C 不適當(0人)</p> <p>○評価コメント</p> <p>(1) 県の政策・施策推進と業務運営方針の整合性、妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・整合が取れていると判断できます。</li><li>・県とのすりあわせは十分になされていると判断します。</li><li>・県民の健康危機管理に不可欠の役割を果たしており妥当である。</li></ul> <p>(2) 県の政策・施策と研究推進計画の整合性、妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・整合が取れていると判断できます。</li><li>・県とのすりあわせは十分になされていると判断します。</li><li>・多様な研究課題に対応できるよう計画されており妥当である。</li></ul> <p>(3) 研究への県民、企業等のニーズの反映状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・反映状況を評価する手法をご検討下さい。</li><li>・ニーズの把握方法については多様な意見を積極的に聴取するために更なる工夫が必要である。</li><li>・県民企業ニーズを把握するシステム(方法)を確立して、研究を開始する。</li></ul>
センターの対応方針	<p>当センターの業務運営並びに研究推進については、今後とも県民計画に掲げる施策の実現に寄与するよう進めていきます。</p> <p>ニーズの把握については、これまでのホームページによる研究課題の公募のほかにも、様々な機会をとらえて積極的に把握するよう努めていきます。</p>